



## キャリアパスフォーラム 第5弾 -さまざまなエリアの日本語教育現場- 開催報告

日 時: 2025年2月15日(土) 14:00~16:00

場 所: Zoomによるオンライン開催

参加者: 参加者48名

登壇者: 【宮城】瀬戸稔彦(大崎市市民協働推進部政策課日本語学校推進室主任教員)  
【茨城】仙波美哉子(公益財団法人茨城県国際交流協会茨城県地域日本語教育の体制づくり事業地域日本語教育推進員)  
【広島】道法愛(広島大学大学院人間社会科学研究科日本語教育学プログラム助教)  
【熊本】前田和則(Plus ten 株式会社)  
【香川】上原由雅(日本語教師グループはずむ日本語代表)  
【静岡】河合世津美(特定非営利活動法人日本語教育ボランティア協会代表)

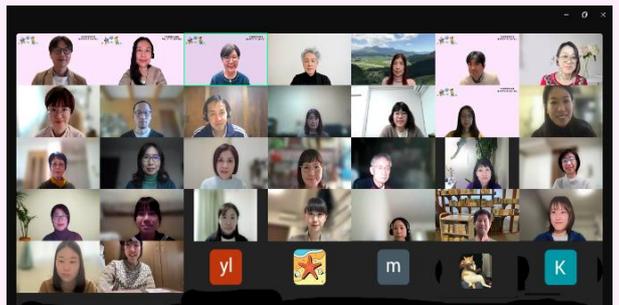
チャレンジ支援委員会では、将来日本語教育にかかわりたい方・日本語教育の新たな分野にチャレンジしたい方などに日本語教育業界の多様な現場をよく知ってもらうためのイベントとして、「キャリアパスフォーラム」を年1回実施しています。

第5弾として、2025年2月15日(土)に「さまざまなエリア(県)の日本語教育現場」がオンラインで開催されました。事前の参加登録者61名のうち17名(28%)が日本語教育学会非会員でした。

当日は、チャレンジ支援委員会の委員による「趣旨説明」の後、「車座タイム」を2回転行しました。6名の登壇者が3つのブレイクアウトルームに2名ずつにわかれ、ご自身のキャリアや地域での活動についてご説明くださいました。参加者は、希望するルームに自由に行き来をしながら、登壇者の話を聞き、不明な点を質問することができました。45分の車座タイム1の後、車座タイム2を行いました。車座タイム1と同じルームに参加する人もいて、参加者の目的意識の強さ、熱心さを感じました。

キャリアパスフォーラム終了後に回収したアンケートでは、26名からの回答(回収率54%)のがありました。今回特徴的だったのは、所属が非常にバラエティに富んでいたことです。一番多いのは日本語学校教員(19.2%)で、次に大学教員(15.4%)、さらに日本語教師養成講座受講生、大学学部生(ともに11.5%)と続きます。また、このイベントをどこで知ったかという質問への回答では「大学や大学院、養成講座の先生など他者からの紹介」が50%を占めていました。これまで過去4回でも多くの方が同様の回答をしていることから、大学、大学院、日本語学校等の養成講座に周知の協力をお願いすることが大切なのではないかと思いました。

全体として今回の企画に対しては、46.2%が大変満足、53.8%が満足と回答し、自由記述には「曖昧だったキャリア形成について考えるきっかけとなった」「多文化共生社会で大切なことは何か考えさせられた」といった意見が寄せられており、参加者は満足していたことがうかがえます。今後扱ってほしいテーマは、「国内の日本語教育機関」が最も多く、国内で日本語教員としてキャリアアップしていくことに関心が高いことがわかりました。今回いただいたご感想やご意見は、次回のキャリアパスフォーラムにぜひ活かしていきたいと考えております。ご登壇くださった皆様、ご参加の皆様、本当にありがとうございました。



(チャレンジ支援委員会: 安達、高村、立部、春口、平山)

問合せ先: 公益社団法人日本語教育学会(チャレンジ支援委員会)

TEL: 03-3262-4291(9~18時のみ) E-mail: [challenge@nkg.or.jp](mailto:challenge@nkg.or.jp)

